

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果(南中学校)

平均正答率

(単位 %)

	国語	数学
南中	63	52
埼玉県(公立)	65	57
全国(公立)	64.6	57.2

質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値

(単位 %)

	質問事項	南中	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	93.4	93.0	92.8
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	90.7	80.4	79.8
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	96.9	92.1	92.7
	新聞を読んでいる(週に1回程度以上)	11.6	8.2	10.4
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	69.8	65.3	63.5
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	85.3	80.1	74.6
	1・2年生のときに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	89.1	84.8	81.0
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	81.4	80.5	75.9
教科への関心	国語の勉強は好きだ	54.3	61.2	60.8
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	84.5	88.9	88.7
	数学の勉強は好きだ	61.3	58.3	59.1
	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	80.6	73.7	74.6
その他	自分には、よいところがあると思う	69.0	76.8	76.2
	将来の夢や目標をもっている	79.0	70.0	68.6
	人の役に立つ人間になりたいと思う	95.4	94.0	95.0
	今住んでいる地域の行事に参加している	49.6	38.7	43.7

南中の「よかった点 (○)」と「課題 (●)」

【国語】

- 基礎的な言語事項についての正答率が高かった。
- 会話の中の役割や、発言の意図をつかみ答える問題の正答率が高かった。
- 文の構成を意識して読むことができる。
- 問題を理解せずに解答しているケースが目立つ。
- 文脈から言葉の意味を想像することが難しい生徒が多い。
- 記述して説明する問題の無答が多い。
- 自分の考えを持ち、説明することに苦手がある。

【数学】

- 大問3や大問8(2)のような選択式の問題の無答数が0であった。
- 問題文が5行以下の無答数が5%以下であった。
- 短答式の無答数は、10%以下であった。
- 問題文が4行以下で、短答式の問題の正答率は75%以上であった。
- 記述式の問題の無答数は19～39であった。
- 問題文が20行以上になると、正答率が40%未満であった。
- 大問8(3)のように、記述式で、最後の1行に説明の内容を限定する「2つの度数分布多角形の特徴を比較して」という指示文がある場合に、読み取れていない生徒が多い。

【質問紙】

- 同じ時間に寝起きをし、規則正しい生活習慣が身につけている生徒や、自分の夢や目標を持って生活している生徒が多い。
- 学習面では、学習に取り組んではいるが結果に反映されていない生徒が多い。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・問題文の内容をよく理解したうえで、何を答えるのか、何を説明するのかつかんで解答する方法を身に着けるために、演習問題を練習させる必要がある。
- ・意見文や説明的な文章を読み取り、自分の意見や考えを書く活動を行うなど、読むことと書くことを繋げるような学習活動が必要である。
- ・書くことにおいて無回答率が多く、説明する力が乏しいからであり、自分の考えや伝えたいことを、適切な表現を使って説明できるような学習に力を入れていく必要がある。

【数学】

- ・記述式の問題や問題の文章量(行数)が増えると、無答数が増えたり、問題文の中に解答を限定する指示文が含まれる場合には正答率が下がる傾向があるので、粘り強く文章を読み解く力が必要だと考えられる。
- ・粘り強く文章を読み解く力を伸ばすには、日頃から長文に触れる機会を設定することや思ったこと、考えたことを文章で表現する活動を意図的に取り入れることが大切であると考えられる。
- 授業中の課題の提示の仕方を工夫したり、発問の中に意図的に指示文を取り入れるなど取り組んでいきたい。

【その他】

- ・自分の夢や目標を達成するためにどうしていけばいいか考え、実行できるようにする。
- ・学習の質を高める。